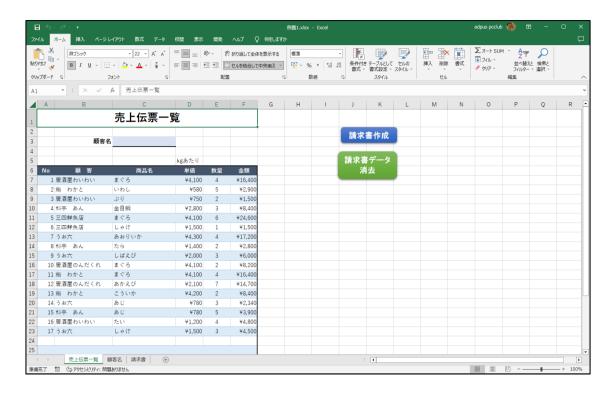
# 例題1

ワークシート「売上伝票一覧」から、顧客を指定して「請求書作成」ボタンを クリックすると、指定した顧客への請求データが転記され、請求書が完成するプログラムを作成します。

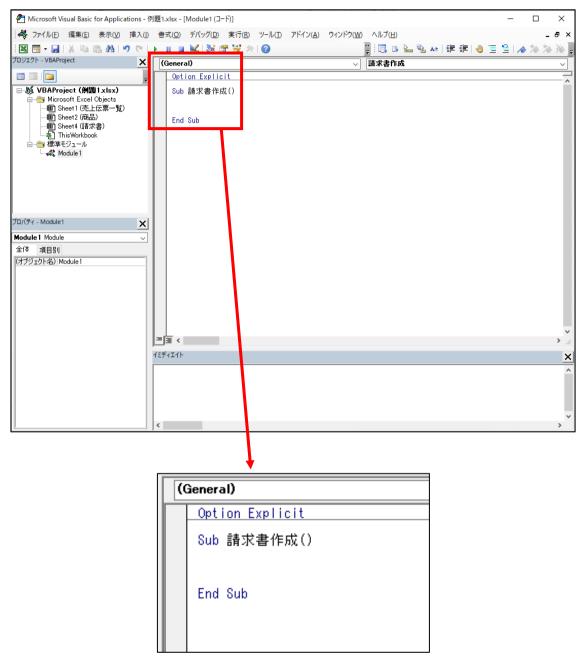
4	А	В	С	D	Е
1	請求書				
2			No	1234	
3			請求日	2023/1/31	
4			HI 224	2020, 2, 02	
5	居酒屋わいわい		御中		
6					
7	下記のとおり、御請求	申し上げます。			
8				株式会社 さかな卸 てつ	
9					
10		合計		24,970 円 (税込)	
11					
12	+=:	114.1		A :-	
13	商品名	単価	数量	金額	
14	まぐろ	4,100	4	16,400	
15	3:1	750	2	1,500	
16	たい	1,200	4	4,800	
17					
18					
19 20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28			小計	22,700	
29			消費税	2,270	
30			合計	24,970	
31					
32	支払期限	2022/11/15			
33	振込先	ふつうの銀行に	本店 普通	1111111	
34		カ) サカナオ	<b>トロシ</b> ラ	F-17	
35					
36		G G	考		
37					
38			1		
	◆	上伝票一覧	顧客	路 請求書 +	

#### Excel ファイル「例題 1」を開いてください。



### ●サブプロシージャを作成する

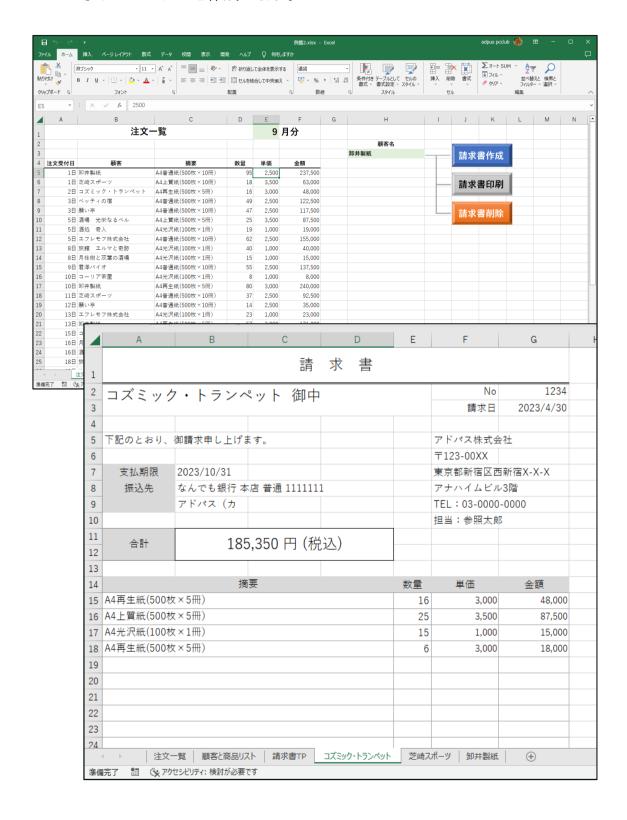
メニューの「開発」から「Visual Basic」を開いて VBE を表示させた後、「請求書作成」サブプロシージャを作成します。



※テキストでは、「Option Explicit」を入力していますが、本プログラムでは入力しなくても問題ありません。次ページに自動で入力される設定およびメリットとデメリットについて説明していますので、必要な方はお読み下さい。不要な方は17ページへ進んで下さい。

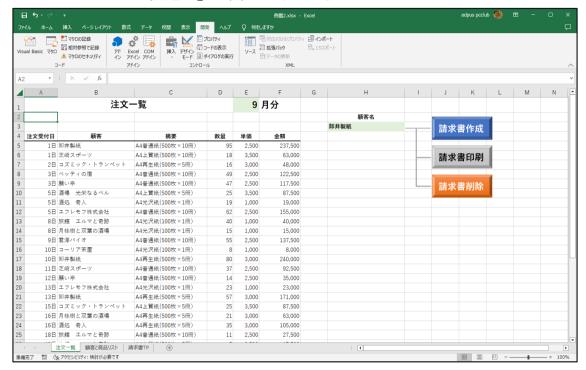
# 例題2

様々な顧客の注文データが入力されているワークシート「注文一覧」から、 顧客ごとの請求書作成と印刷、そして請求書削除をボタンのクリックで行うこ とができるプログラムを作成します。

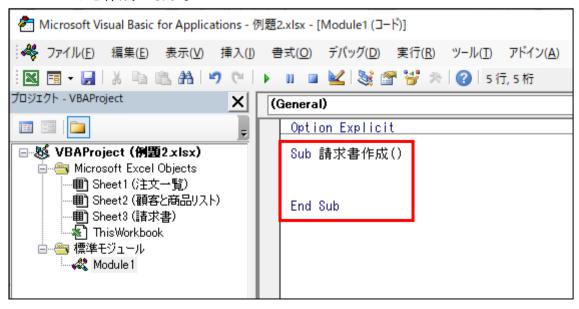


## ●「請求書作成」サブプロシージャを作成する

Excel ファイル「例題2 | を開いて下さい。



メニューの「開発」から「Visual Basic」を開き、「請求書作成」というサブプロシージャを作成します。



# ●ボタンにマクロを登録する

ワークシート「注文一覧」の「請求書作成」ボタンに「請求書作成」サブプロシージャを登録します(17ページ~18ページ参照)



#### ●ワークシートをコピーする

ワークシート「請求書 TP」をコピーして顧客ごとのデータを入力できるようにします。

コピー先は、ワークシート「請求書 TP」の右隣にします。

まず、ワークシートをコピーするコードを入力します。

#### Worksheets("請求書 TP"). Copy



続いて、貼り付け先を指定するコードを入力します。

#### \_After:=Worksheets("請求書 TP")



※今回のコードは、常にコピー元の右隣に新しく作成するプログラムです。 Count プロパティや Add メソッドを使う方法もありますが、今回は割愛します。